

平成23年度 工業技術総合研究所研究成果発表会

～新潟県工業技術総合研究所のすべてお見せします～

日時 平成23年6月15日(水) 9:30～16:40

会場 新潟県工業技術総合研究所(新潟市中央区鏡西1-11-1)

新潟県工業技術総合研究所では、昨年度実施した研究開発や企業支援などの事例を広く皆様にご紹介いたします。

今回は、以下の3つの事業内容を報告し、特別講演として(財)社会開発研究センター 高辻 正基氏をお招きし、「植物工場の現状と今後」と題してご講演いただきます。多数のご参加をお待ちしております。

成果事例報告

昨年度実施の研究成果・支援事例一挙11テーマを報告！
シミュレーションや金属加工、ナノテク加工などを口頭発表しますので、活発な討議をお待ちしております。

調査研究報告

過去1, 2年の間で調査した分野や基盤技術に関する各種技術の現状や研究会の様子をわかりやすく報告します！

設備機器紹介

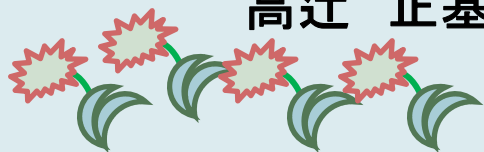
最新保有設備を中心に
ご紹介！！

- 電波暗室(登録)→新設備
- 形状粗さ測定機→新設備
- 蛍光X線分析装置
- サーベイメータ

特別講演

「植物工場の現状と今後」

財団法人 社会開発研究センター
高辻 正基 氏



【講師プロフィール】

1962年東京大学工学部応用物理学科卒業後日立製作所に入社。同社中央研究所、基礎研究所を経て、1988年から東海大学非常勤教授。東京大学、京都大学、東北大学、電通大などの非常勤講師を歴任。1991年から2007年まで東海大学開発工学部教授。理学博士、東京農業大学客員教授。日本での植物工場研究の先駆者として1974年からこの道一筋の碩学。主な著書に「完全制御型植物工場」、「図解 よくわかる植物工場」など

●お申し込みは裏面参加申込書にご記入の上、FAXにてお申し込みください。

アクセスマップ



お問い合わせ

新潟県工業技術総合研究所
企画管理室 担当: 明歩谷(みょうぶだに)
(新潟市中央区鏡西1-11-1)
TEL 025-247-1301
FAX 025-244-9171
E-mail info@iri.pref.niigata.jp
URL <http://www.iri.pref.niigata.jp>

研究成果発表プログラム

9:30～ 所長挨拶

研究成果・支援事例

A会場
(講堂)

9:45～ 転倒時保護機構に対応したグレンデ整備車のキャビン製造 須貝 裕之
「CAE(コンピュータシミュレーション)を利用した高強度雪上車キャビンの開発について」

10:00～ 多点薄膜温度センサーユニットの開発 山田 敏浩
「MEMSプロセスを用いて、内径測定機に搭載する寸法補正用の多点薄膜温度センサーユニットを開発」

10:15～ イオン液体を用いた高温超音波キャビテーション「ピーニング」技術の開発 中川 昌幸
「イオン液体中のキャビテーションを利用したSUS304表面に対する応力腐食割れ対策法を検討」

10:30～ 表面処理皮膜の硬度測定に関する検討 三浦 一真
「表面処理皮膜の硬度測定手法として注目されるナノインデンテーション法を説明するとともに測定事例を紹介」

休憩(15分)

11:00

設備機器紹介 施設見学 電波暗室(登録)/形状粗さ測定機/蛍光X線分析装置/サーベイメータなど

12:00

昼休み

13:00

13:00～ ICTを活用した遠隔技能伝承アシストシステムに関する研究開発 五十嵐 晃
「匠の技を最新のセンシング技術で見える化し、技能伝承を支援するシステムを開発」

13:15～ 超耐熱合金の高速切削加工 相田 収平
「インコネル718などの超耐熱合金の切削加工手法について紹介」

13:30～ 二次電池とキャパシタの蓄電デバイス用充電回路の開発 阿部 淑人
「自然エネルギーの有効利用のために、電気二重層キャパシタの特性を利用して充放電効率の良い蓄電システムを開発」

13:45～ マイクロウェーブ試料分解装置による試料分解方法の確立 内藤 隆之
「各種分析装置の前処理としてのマイクロウェーブ試料分解装置による分解事例」

休憩(15分)

14:15～ ゴミ取り用トング挟持部の滑り止め機構に関する研究 中部 昇
「滑り止め効果を付与したゴミ拾い用トングの性能評価」

14:30～ 蛍光X線定量分析における精確さの調査 佐藤 健
「中越技術支援センターで行う鉄鋼材料の定量分析について、測定値の精確さを調査」

14:45～ CAE研究室活動報告 須貝 裕之
「当研究所が設置しているCAE研究室の成果事例を報告」

休憩(10分)

15:10

特別講演

「植物工場の現状と今後」

【講演概要】いま植物工場は第三次ブームにあるといわれ、産学官で賑わいを見せています。安全安心な野菜の安定供給を目指す植物工場は確かに時代の要請に合致したものであり、将来の発展が期待されます。その現状と今後県内企業が参入できるであろう取組みをご紹介します。

【講師】

財団法人 社会開発研究センター

高辻 正基 氏

上記内容は変更になる場合があります。

16:40

新潟県工業技術総合研究所 企画管理室 行き

「研究成果発表会」参加申込書

FAX 025-244-9171

会社・団体名			
連絡先・所在地 (TEL・FAX)	〒	(TEL - -) (FAX - -)	
参加者	役職名	役職名	役職名
	氏名 Mail:	氏名 Mail:	氏名 Mail:

※見学希望の機器にチェックを入れてください

電波暗室 形状粗さ試験機 蛍光X線分析 サーベイメータ その他()

※ご記入いただいた内容は、新潟県からの連絡・情報提供のみに利用させていただきます